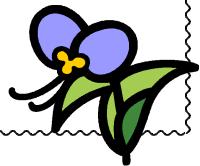


学校だより

# 玉一っ子通信



## いよいよ学校再開！しかし…

およそ1ヶ月ぶりの学校再開。休校の間に6年生が植えたじゃがいも（カンプラ芋）は青々と葉を揃え、自慢の八重桜もすっかり葉桜となりました。やっと始まった学校の再開を、子どもたちも待ちわびていたようで、昇降口での表情も、あいにくの雨模様をはね飛ばす明るさでした。

休校の期間中は、ご両親はじめ祖父母の皆様にも、様々な面でお世話をいただきましてありがとうございました。お陰様で、大きなけがも病気もなく元気に登校することができた子どもたちです。しかし、ご承知のとおりまだ油断や安心はできません。

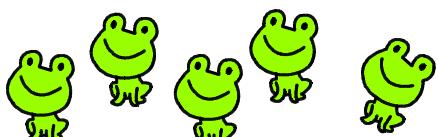
本校では、これからも休校前と同じように、できる限りの感染症予防に努めています。特に、最悪の場合を想定して、まずは、ウイルスを持ち込まないよう昇降口での健康観察（忘れた児童の検温）や使用頻度の高い場所の毎回の除菌の徹底に努めます。教室の机の間隔を広くしたり、できるだけ接触を避けることにも注意を払いますが、そこは小学生、残念ながら全てに目が行き届くわけではなく、ましてや休み時間などはどうしても距離が近くなるのも、ある程度は仕方がないことと考えています。集団感染を起こさないためにも、これまでのようにお子さんの規則正しい生活を通して、感染しない体力の維持や衛生面での配慮、さらには体調が悪い場合は無理な登校を控えるなどの措置を、ご家庭にもご協力いただき連携して対応することが一番と考えます。

また、学校では、心配されている学習の遅れを取り戻すために、学習内容を組み替えたり、指導方法を工夫するなど、できるだけ現状に合わせた効果的な学習を実践します。制限が多い中、手探りの状態は否めませんし、課題は依然として山積みですが、幸いにも全教職員が健康で意欲的です。元気な子どもたちと久しぶりに会えて、校長室に漏れ聞こえてくる職員室の会話も日に日に明るさを増しています。児童、教職員一丸となって取り組んでいきますので、今後もご理解とご協力をお願いします。

## コロナもクルマも危険です！



〈用務員さんにもお手伝いいただいて〉



〈○の中が特に危険です〉

20日の朝は自動車による送迎がいつもよりも多く、学校の目の前での降車が目立ちました。運転席側から降りて道路を横切る大変危険な場面に、とっさに大きな声をあげた校長です。

久々の学校のため、この日の子どもたちの持参物は少し多めでしたし、あいにくの雨。ついつい親心が先立つ…は十分理解できますが、もし反対側から通勤途中の車が…、目の前に子どもが飛び出したら…、と考えるとぞっとなります。現に同じような場面での死亡事故は多く発生しています。

この日の昼の放送で、子どもたちに決められた場所からの徒歩登校を呼びかけました。放送でしたので表情は分かりませんでしたが、担任の教師からはしっかりと理解していたと報告を受けました。蒜生方面からは商工会議所付近・岩法寺方面からは中村池付近での降車が学校のルールですが、もちろんもっと遠くでもかまいません。お子さんと話し合われて決定してください。コロナもクルマも人の命を脅かすものです。しっかり指導していきたいと思います。なお、緊急の場合には敷地内に十分気をつけてお進みください。